

夏ネギ収穫シーズンが到来

当JA管内産の夏ネギが、収穫期を迎えています。県内や関東の市場を通して飲食店や量販店に並んでいるほか、学校給食や直売所にも出荷されています。

収穫を約1カ月後に控えた6月30日(火)、野菜部会秋田支部の現地研修会が秋田市雄和で開かれました。生産者ら約30名が畑の状態を観察したりネギの長さを測ったりしながら、害虫や排水対策、土寄せの深さなどについて意見を交わしました。

7月下旬には追分低温倉庫で目揃え会が行われ、他産地の情勢や出荷規格、収穫前の管理方法などを学びました。曇天が続いて病害虫の発生が懸念されるため、排水対策や防除を徹底して品質を維持するよう意思を統一しました。



夏ネギの収穫前管理を学ぶ生産者

「ぎんさん」栽培講習会

7月上旬、多収性品種「ぎんさん」の栽培講習会が男鹿市脇本と潟上市天王で行われました。

「ぎんさん」は酒造用原料や外食チェーン店向けに需要が高く、「あきたこまち」よりも収量が10〜20%多い品種です。平成28年度から秋田市で作付けされており、男鹿地区営農センター管内では令和元年度の試験栽培を経て、今年度から約130ヘクタールで栽培が行われています。

講習会ではJA全農あきた米穀部の児玉徹参与を講師に迎え、今年度の生育や気候の経過を振り返り、7月以降の水田管理の注意点などを学びました。「ぎんさん」の多収性を生かすための施肥設計や土壌なども話題に上がりました。



「ぎんさん」栽培への意欲を高めました

NEWS & TOPICS

男鹿市・潟上市を表敬訪問

7月9日(木)、当JAの吉田文勝副組合長らが男鹿市役所と潟上市役所を表敬訪問し、管内産の菊とメロンを贈呈しました。令和2年度の生育状況を報告し、地域農業の維持に向けて情報を交換しました。

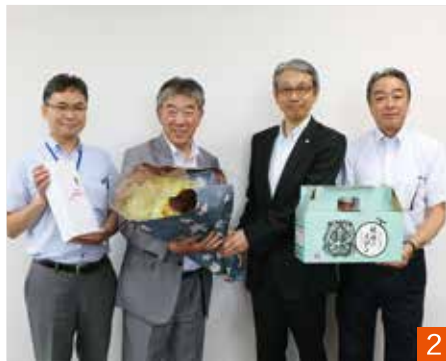
吉田副組合長は菅原広二男鹿市長と藤原一成潟上市長へ、園芸メガ団地で栽培したデイスパッドマムや若美地区産のメロン「秋田美人」を手渡しました。手にした特産物を見て順調な生育を確認した両市長は、笑顔を見せていました。

新型コロナウイルスによる農業への影響や地域のにぎわい創出、JA事業や施設の活用方法など、様々な意見を交わしたほか、潟上市では天王地区の生産者が最優秀賞に輝いたJA主催の「美味しい米」コンクールの話題も上がりました。

菅原市長は「農林水産業や観光業などの様々な分野が一丸となるのが、地域の存続のために大切だと感じる。JAとともに様々な視点を交えながら、地域社会の発展に努めていきたい」と話しました。



1



2

1 管内の特産物を贈呈し、生育状況を報告しました

3 …… 両市長へ贈られた園芸メガ団地産のデイスパッドマム



3